

【石垣市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

国や県の施策に基づき作成した石垣市情報活用基本方針「Iープラン」で示した「自立した学習者の育成」を目指した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を目指す。

「個別最適な学び」では、児童生徒がそれぞれの理解度やペースに応じて学習方法等を自己選択・自己決定したり、興味関心に応じた課題や新たな問いを発見する等、主体的に学習に取り組んだりする。また、他者との対話を通し、説明したり学んだことを確認したりするなど、「協働的な学び」の充実も図っていく。

児童生徒が主体的・対話的に学ぶ資質・能力の育成を図るために、クラウド環境下での1人1台端末利活用を図り、「自立した学習者の育成」を目指す。

2. GIGA 第1期の総括

3年間の取組の中で、情報共有や共同編集等における日常的な利活用については、一定の成果を得ることができた。

一方で学年間及び学校間での利活用の差が出てきている。また、教師主導型の一斉学習から子供主体の学習への学習観の転換等、新しい授業観への理解も十分とはいえない。

自立した学習者の育成には、クラウドを最大限に活用した1人1台端末による学びが不可欠である。引き続き、ICT支援員と連携し、サポートや研修の充実を図っていく。

3. 1人1台端末の利活用方策

今回の端末整備・更新に向けて、教師自身がクラウドの良さや便利さを実感できるように校務や研修での利活用を促進しながら、授業での活用を推進していく。

新しい授業観に向けても、国や県の施策や本市「Iープラン」に基づき、研修内容の工夫充実を図っていく。また、石垣市学力向上フロンティア教育推進プロジェクトや文部科学省リーディングDXスクール事業等により、その実践を広く共有しながら横転換を図っていく。

また、利活用に係る情報を一元化し、アプリ共有等もダウンロード共有できるようなポータルサイトにより、情報発信や情報共有を積極的に展開していく。

さらには、沖縄県教育庁県立学校教育課教育DX推進室や文部科学省GIGA StuDX推進チームや学校DX戦略アドバイザーからの助言をいただきながら、1人1台端末の利活用を促進していく。文科省の示す標準仕様ツールを効果的に活用し、児童生徒が主体的な学びができるよう推進を図ることで、本市の目指す「自立した学習者の育成」を目指す。